

# 九州大学経営協議会議事録

日時：平成28年3月17日(木) 12:57～14:55

場所：九州大学 椎木講堂大会議室

出席者：29名中19名出席

## 【審議事項等】

### 1 役員の退職手当に係る業績評価について

3月末をもって退職する教授(元理事)の退職手当に係る理事在任期間(平成16年4月1日～平成20年9月30日)の業績評価について説明があり、審議の結果、これを議決した。

### 2 平成28年度計画について

平成28年度計画の概要について説明があり、審議の結果、これを議決した。

なお、以下のような質疑応答があった。

- ・資料 p.2 の(4)に記載の「新たな入試制度」について、どのような検討をしているか。  
従前は学力中心にやってきた入試について、平成30年度に設置予定の新学部の入試については、例えば本学で取り組んできた21世紀プログラムなどの経験も活かして、国の大学入試制度改革の動向なども見据えながら、面接なども重視した形の新たな入試制度を検討している。
- ・資料 p.4 の3社会との連携のところで、様々な大学でイノベーションがらみのものが進められていると思うが、九州大学としてのイノベーション創出プログラムの特徴があれば教えていただきたい。  
一つはオープンイノベーションのメタプラットフォーム作りを目指していることと、もう一つは、新産業・基盤産業の創出について全体創出支援を強めていく方針としていることである。
- ・社会で求められているイノベーション人材の育成がなかなか進んでいないので、是非、積極的に取り組んでいただきたい。
- ・留学生の割合の目標が16%以上となっているが、なぜこの数値なのか。  
実現可能な割合に努力目標も加えた数値で記載している。
- ・ダブルディグリー、ジョイントディグリーについてはどの程度取り組んでいるか。  
現在、十数プログラムが走っており、今後さらに増やしていく予定である。
- ・p.3 の【14】に記載の「つばさプロジェクト」とはどういったものか。  
人社系の若手教員が研究代表者となり、他部局の教員と一緒に異分野融合の新しい課題にチャレンジする研究を原則2年間支援する本学独自の学内のプロジェクトである。

### 3 国立大学法人九州大学予算編成方針等について

第三期中期目標期間における予算編成方針等について説明があり、審議の結果、これを議決した。

なお、以下のような質疑応答があった。

- ・学内の先生方から見た場合に、本省サイドの補助金等に申請する時の工夫と、総長裁量

経費などの学内の配分のための総長に対する説明など、大学によっては学内でコンペがあると聞くが、学内での評価の仕方など、総長サイドから見た場合にどうなのかなど何かあれば教えていただきたい。

- 国からは学長裁量経費として新たに増額されたのではなく、配分された中で新たに区分されたものであって、総長裁量経費については純粋に総長の裁量で使える経費だけではない。実際に学内の必要なヒト・カネ・モノについてしっかりとメリハリをつけて配分しなければならない。アクションプランや大学のビジョンを実行するための取組を評価して重点配分を行う。さらに、国の大きなプロジェクト等も、獲得することで大きな負担も増えるが獲っていかなければならない。一方で、科研費等は先生方の独自性に基づいたもので、ある程度自由裁量でもあり、30%の間接経費も付くのでこれも頑張って獲っていただく必要がある。様々な工夫をしていかなければならない。
- ・ p.2の中ほどに「平成29年度以降の取扱いについては、毎年度、病院経営状況を踏まえ見直し」との記載があるが、実際のところ病院経営はどのような状況なのか。  
運営費交付金も下げられ、また消費税が増えたこともあり、全国の国立大学病院がそうであるが、なかなか厳しい状況である。しかし今年度については、おそらく七大学の中では九大だけが黒字となっている。但し、来年度以降の経営状況については予測もつかないため、「病院経営状況を踏まえ見直し」としている。
  - ・ 重点支援枠毎の評価結果については、6年間続くのかまたは毎年度評価されるのか。  
毎年度評価される。28年度については取組構想の評価であるが、29年度以降は取組結果も踏まえて評価されることとなる。

#### 4 平成28年度資金管理方針等について

平成28年度資金管理方針等について説明があり、審議の結果、これを議決した。

#### 5 農学系地区及び文系地区の整備計画について

伊都キャンパスの農学系地区及び文系地区の整備計画について報告があった。

#### 6 九州大学箱崎キャンパス跡地のまちづくりについて

平成28年2月開催の福岡市議会に提出された箱崎キャンパス跡地のまちづくりに係る検討状況等について報告があった。

なお、以下のような質疑応答があった。

- ・ 福岡市全体の計画としてではなく、このエリアのみの計画という扱いなのか。  
東区では、この他に2つの大きな再開発計画が進んでおり、箱崎キャンパス跡地については福岡市にとっては第三の開発地区という位置づけであり、一つの大きなキーワードとなっている。
- ・ 九大として箱崎キャンパスの記念碑的なものを置く予定はあるのか。  
正門、門衛所、旧工学部及び旧本館庁舎は必ず残すこととしており、そのままの形で使うところに譲るということで福岡市や地域の協議会とも合意している。

#### 7 国立大学法人九州大学における障害者支援について

障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律及び障害者の雇用の促進等に関する法律が平成28年4月から施行されることに伴う本学の対応について報告があった。

なお、以下のような意見があった。

- ・他大学と比べても非常にしっかり対応されていると思う。資料(7-4)に合理的配慮の対象範囲のイメージがあるが、九州大学には、地域や企業等との連携や九州大学としての強み等も活かして、もっとシームレスに広く取り組んでいただけるといいと期待している。

【その他】

- 1 平成28年度の会議日程について  
平成28年度の本会議開催日程（予定）について案内があった。
- 2 退任委員等の紹介  
今年度末をもって退任する委員及び役員等の紹介があった。

（ 以 上 ）